

市の発展と起債 市債の現況

市債の三月末現在高は、一般事業債二億九千九九十六万円、収益企業および転貸債三億五千三六三万円、合計六億五千三五九万円となつております。収益企業債および転貸債の償還につきましては、それぞれ事業収入その他特定財源がありますから、これら以外の一般事業債の現債額を、市民一人当たりに計算しますと、五、四一八円、一世帯当たりでは二七、三九一円の負担になつております。例年余り大差ない経常収入をもちまして、市勢の発展とともに緊急整備拡充を要する施設などの経費を、一時にねん出することは不可能なことですから、今後も不足財源を起債に求めなければなりませんので、更に深いご理解をいただきたいのです。

市債現在高調 (単位千円)

32、3月現在

区分	一般会計			附記	特別会計			
	現金	公募	計		現金	公募	計	
消防債	5,000	2,552	7,552	市民1人当り額 5.418円	上水道事業債	79,530	13,214	92,744
普通土木債	35,297	22,000	57,297	1世帯当り額 27,391円	交通事業債	16,032	6,000	22,032
教育債	87,903	19,000	106,903		病院事業債	93,078	—	93,078
社会福祉施設債	59,313	12,750	72,063		国民健康保険債	2,074	—	2,074
保健衛生債	36,900	5,250	42,150					
産業経済債	1,000	4,393	5,393					
災害復旧債	8,603	—	8,603					
小計	234,016	65,945	299,961		合計	190,714	19,214	209,928
転貸債	143,701	—	143,701					
合計	377,717	65,945	443,662					

昭和31年度会計に収入み込みのものを含む。

30年度各会計決算の状況

昭和30年度各会計の

決算概要

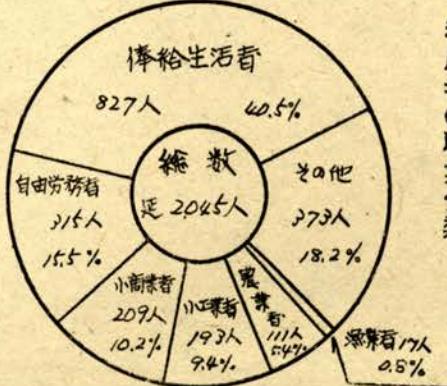
会計別	最終予算額	収入 支出の別
一般会計	591.212	収入 支出
特別会計	上水道 50936	収入 支出
	交通 36.166	収入 支出
	病院 77.499	収入 支出
	電気 2.691	収入 支出
	国保 24.076	収入 支出
総計	782.580	収入 支出

決算		
金額	予算比率	差額残金(△赤字)
521,471	88%	38,969
482,502	82	
35,883	70	△ 13,855
49,738	98	
36,126	100	3,327
32,799	91	
69,631	90	46
69,585	90	
2,062	77	0
2,062	77	
22,610	94	184
22,426	93	
687,783	88	
659,112	84	28,671

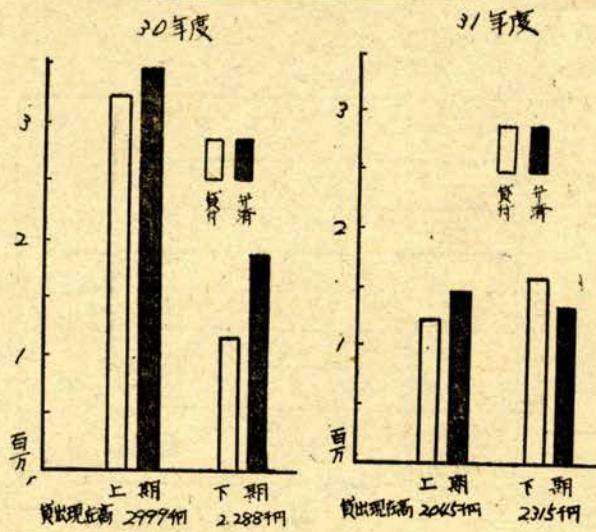
利用者若干減る公益質屋

庶民の簡易金融機関として開設している公益質屋の、三一年度の利用状況は、三〇年の状況と比較しますと、人員において九七六人、貸付金額において一五一万一千円、利子収入において三三万六千円それぞれ減少しております。この原因は経済事情の好況に恵まれ、利用者が減少したこと、一つには貸付限度額が、一般資金では一口二千円、一世帯一万円、生業資金では一口三千円、一世帯一万五千円止りとなつておなり、利用者の希望を満たすことができないためにによるものと思われます。貸付限度額の決定は法律によつて知事が許可することになつておりますが、市ではこれが引上げを要請中です。

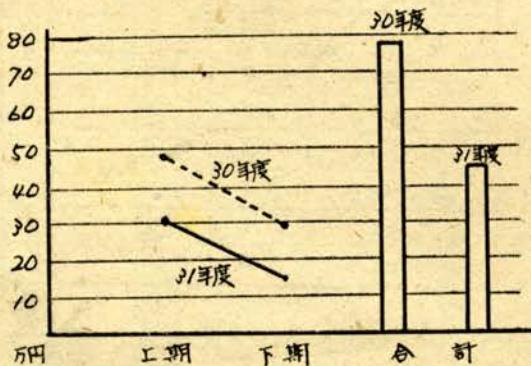
(四頁からのつづき)



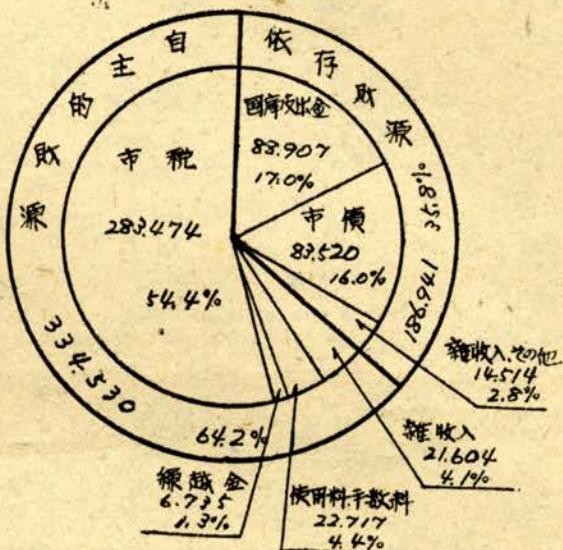
貸出辨済の状況



利子収入の状況



一般会計 収入決算分析



支出決算分析

